

第1回川崎市議会定例会のご報告

平成28年2月15日(月)～3月18日(金)の期間にて第1回川崎市議会定例会が開催されました。今回の定例会においては、「議案第44号 平成28年度川崎市一般会計予算」等の予算関連議案を含む計91本の議案審査が行われました。

本市独自の防犯カメラ助成制度の創設へ —平成28年度一般会計予算—

<平成28年度予算編成について>

公約の実現に向けた取組を切れ目なく推進する為と必要性が示されましたが、量より質に転換を遂げた新たな行財政改革案からは大きな財政効果を見込めるものではなく、返済の為の財源捻出は容易なことではありません。

一般会計ベースでは公債費735億円に対して市債発行額は592億円となり、基礎的財政収支、いわゆるプライマリーバランスは140億円の黒字とされています。しかし、償還元金に加えて147億円もの利払いに92億円の新規借入を勘案すれば実質的には赤字となることから大変厳しい財政状況が浮かび上がります。

防犯カメラの設置支援 新規

平成28年度から町内会・自治会等が防犯カメラを設置する費用に対してその一部を助成



保育士宿舎借上げ補助 新規

国の補助事業を活用し、法人が保育士の宿舎を借り上げる為の費用の一部を支援



小児医療費の拡充 拡充

既存の医療費助成の適用範囲を小学校2年生から小学校3年生へ拡大



路線バスサービス向上に向けた社会実験の実施 拡充

路線新設に向けた路線バス社会実験への支援(向ヶ丘遊園駅～たまプラーザ駅)



<「今後の財政運営の基本的な考え方」について>

—市債のみならず減債基金からの借入を含む新たな負債管理の手法を求め—

必要な施策・事業の着実な推進と持続可能な行財政基盤との構築の両立を目指す「今後の財政運営の基本的な考え方」には「継続的な収支の均衡」、「プライマリーバランスの安定的な黒字の確保」、「減債基金借入金の計画的な返済」の3つの取組目標が示されています。しかし、プライマリーバランスは本来、市債残高の抑制、つまりは市の債務の縮減を狙いとする財務指標であり、減債基金から多額の借入れがなされている本市においてその目標設定は本来の趣旨にそぐわないことから目標の見直しと市債のみならず減債基金からの借入れを含む市の負債管理の手法について質問を致しました。また、収支均衡の目標年次は平成31年度とされていますが、既存の市長任期における目標達成が困難とされる財政的な理由、市民一人当たりの市債残高の目標値は指定都市平均以下とされたものの、既に5万円以上も下回る状況においてあえて債務増を許容するような目標値を定めた意図、また、企業会計等への基準外繰出金についても抽象的な目標設定であることから成否判断は極めて困難であり、緩すぎる目標や財政的な数値目標がない指標からは新たに行財政改革に臨む市長の断固たる決意が伝わらず、まずは借入れに依存しない市政運営を目指すべきであり、返済の担保がないことに市民の不安は募っていることから任期中の借入額に対する責任とけじめについて市長の認識を伺いました。

—依然として減債基金に依存する財政運営が続く—

過去最大の規模とされる平成28年度一般会計予算ですが、依然として減債基金に依存する財政運営が続いています。当初見込みから縮減されたもの、単年度92億円の新規借入にこれまでの借入総額231億円の返済目途が立たない財政運営は決して看過出来るものではありません。

学校施設の老朽化対策

川崎市の小中学校施設は昭和40年代後半から50年代にかけて建設されたものが多く、建築後30年を経過するものが全校の過半数を占めており、老朽化は深刻な問題です。現在、本市で進められている長期保全計画の取組について紹介いたします。

【学校施設長期保全計画とは?】

※平成28年度、宮前区内では、

- ・ 工事着手1校(菅生小体育館)
- ・ 設計着手/継続5校(菅生小校舎、有馬小体育館、宮崎小体育館、南野川小体育館、白幡台小体育館)

※下記、表は区内の学校施設の状況をまとめたものです。

小学校	グループ		築年数	
	校舎	体育館	校舎	体育館
有馬小学校	C	C	41	40
犬蔵小学校	C	C	38	37
鷺沼小学校	C	C	37	36
白幡台小学校	C	C	42	40
菅生小学校	C	C	47	43
平小学校	C	C	36	36
土橋小学校	A	A	8	8
西有馬小学校	C	C	36	36
西野川小学校	C	C	33	34
野川小学校	B	B	23	23
稗原小学校	B	B	28	28
富士見台小学校	C	B	42	26
南野川小学校	C	C	40	40
宮崎小学校	C	B	44	28
宮崎台小学校	C	C	39	38
宮前平小学校	C	C	34	34
向丘小学校	A	A	17	17

中学校	グループ		築年数	
	校舎	体育館	校舎	体育館
有馬中学校	C	C	36	36
犬蔵中学校	C	C	35	35
菅生中学校	C	A	40	7
平中学校	B	B	27	27
野川中学校	C	C	33	33
宮崎中学校	A	B	13	26
宮前平中学校	C	C	38	37
向丘中学校	C	B	44	23

※築年数は、計画策定時である平成25年度を基準としています。
※築年数は、最も古い棟の築年数をもって当該学校の築年数としています。

築45年程度で建替えとしていた学校施設を、適切な改修により目標耐用年数の80年まで長寿命化を図る取組です。学校施設評価の結果、グループ毎に今後の整備実施時期及び整備メニューを策定していきます。

改修のビフォー / アフター

● 廊下
(西丸子小学校)



● 普通教室
(西丸子小学校)

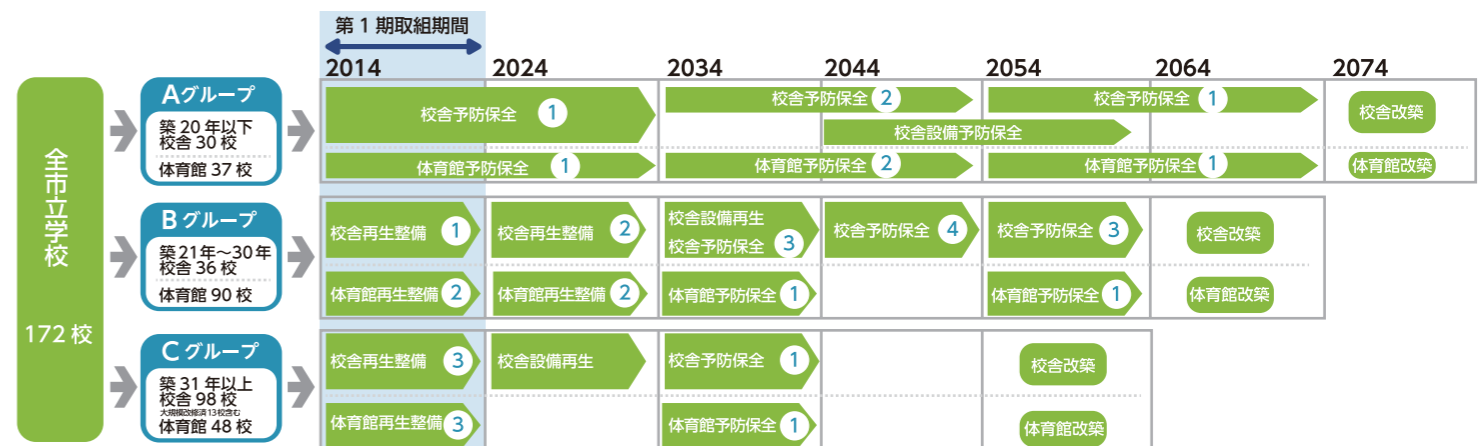


● トイレ
(久末小学校)



各グループの実施スケジュール

※各グループにおける整備メニューはそれぞれ異なり、図中①～③で分けられています。



● 昭和60年8月28日、川崎市宮前区初山に生まれる(30歳) ● 川崎市立菅生小学校 卒業・川崎市立菅生中学校 卒業・法政大学第二高等学校 卒業・法政大学情報科学部コンピュータ科学科 卒業 ● 平成20年4月 伊藤忠テクノソリューションズ(株) 入社・平成26年7月 政治活動に専念するため同社を退社・自由民主党公認 宮前区市政政策委員・平成27年4月 川崎市議会選挙(宮前区)初当選・平成28年4月文教委員会・農業委員会 ● 剣道 四段、空手 二段、書道・毛筆三段 硬筆二段